

## 100歳おめでとうございます

8月に満100歳を迎えた古庄明治さんに、市長からのお祝い状とお祝い金が贈られました。



古庄 明治さん  
大正5年8月11日生

※本人のご希望により写真は掲載していません。

## 目指せ！オリンピック出場 全日本ジュニアテコンドー選手権

8月19日、西合志中3年の岩下優人さんと合志中1年の白石光さんが、長野県で行なわれた全日本ジュニアテコンドー選手権大会の結果報告のため市長を訪問しました。大会では、県代表として共に中学生男子57kg級に出場した二人。熊本県勢対決となった準々決勝では、白石さんが勝利を収めて3位に入賞しました。

今後は「オリンピックを目指したい」と岩下さん。白石さんは「全国優勝を狙いたい」と目標を語りました。



岩下さん(左)と白石さん(右)

## 子どもも大人も楽しんだ 野々島・合生コミュニティ夏祭り

8月6日に野々島公民館で、同20日に西合志第一小学校で、それぞれ野々島コミュニティと合生コミュニティの夏祭りが開催されました。

野々島では子どもたちによるスイカの早食い競争や、地区対抗の綱引き大会に歓声が上がりました。合生ではくまモンとヴィーブルくんが登場し、くまモン体操を披露。中盤では、西合志第一小の子どもたちが和太鼓演奏とドラえもん音頭で会場を盛り上げました。



◀スイカの早食い競争に挑む子どもたち

ドラえもん音頭を踊る▶  
西合志第一小の子どもたち

## 暑さに負けず清掃活動 肥後大津たばこ販売協同組合

8月3日、肥後大津たばこ販売協同組合が、たばこの吸い殻拾いなどの清掃活動を行ないました。同組合は地域貢献の一環として4市町村を回りながら、菊池地域と西原村、南阿蘇村で年8回程度の環境美化活動に取り組んでいます。

この日は組合員10人が参加。暑い日差しの下、午前中に合志庁舎周辺と日本たばこ産業付近を清掃。午後は菊陽町に移動し、ごみ拾いに汗を流しました。



暑い中集まった肥後大津たばこ販売協同組合の皆さん

## 食べ物の大切さを伝えたい 保育士さんが生ごみリサイクルに挑戦

8月1日、こうしおんがく保育園で、「生ごみは宝物！」と題した生ごみリサイクルのインストラクター養成講座を開催しました。これは、食べ物の大切さとごみのリサイクルについて学び、保育園などで生ごみを使った土づくりに取り組んでもらおうと、市内8園の保育士を対象として菊池環境活動協議会と市が企画したものです。

NPO法人大地といのちの会の吉田俊道理事長が、生ごみリサイクルの土で作った元気な野菜を食べて健康な体をつくる「循環」と「命」について講演。その後、園児と一緒に生ごみを使った土づくりを実演し、野菜くずで育つ菌の働きをわかりやすく説明しました。

最後は保育士代表として、栄保育園の下村優花先生が別の園児を対象に実演。吉田理事長の説明を手本にして、子どもたちが興味を示しそうな言葉を選び、生ごみが土に生まれ変わる仕組みについて話しました。

反省会では、「菌を“菌ちゃん”と呼ぶ吉田先生の工夫に驚いた」「子どもたちが直感的に理解できるよう工夫していきたい」「園に帰ったら早速取り組んでみたい」など、反省点や意気込みを語る声が聞こえました。



①③吉田理事長の話に興味津々の子どもたち ②下村先生が実践  
④野菜くずを土に混ぜる子どもたち ⑤多くの意見がでた反省会

## 交通安全を祈願して 須屋小屋地蔵まつり

8月23日、堀川区で須屋小屋地蔵まつりが開催されました。明治時代から続くこの祭りは、交通安全祈願と地域住民の交流を目的に毎年行なわれています。

会場の一角には、お地蔵さんとともに茅の輪も設置され、たくさんの親子づれがお参りのために列をつっていました。歩行者天国となった通りでは、多くの人が見守る中、地域総踊りや子どもみこしが通りを練り歩き、祭りを一層盛り上げていました。



元気な掛け声を上げてみこしを担ぐ子どもたち

## 笑顔で住民交流 すずかけ台でそうめん流し

8月20日、すずかけ台の住民交流サロンでそうめん流しが行なわれました。これは、地域住民の交流の場になればと区が毎年開催しているものです。

子どもから高齢者まで、地域住民約70人が参加。約5mの台を2本並べ、そうめんやキュウリ、ミニトマトを流しました。お椀を片手に「今か今か」とそうめんを待つ子どもたち。そうめんが流れてくると一生懸命箸でつかみ、おいしそうにほお張っていました。



会場には子どもたちの楽しそうな声が響きました